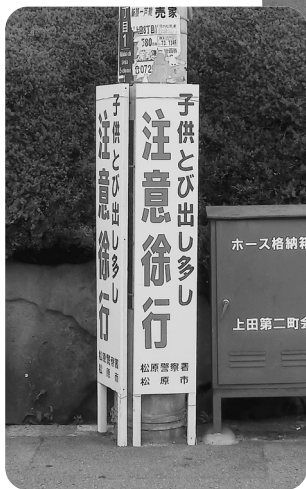


ご要望が実現しました!!

通学路の整備

(路面表示・看板
設置/上田3丁目)



水路の整備

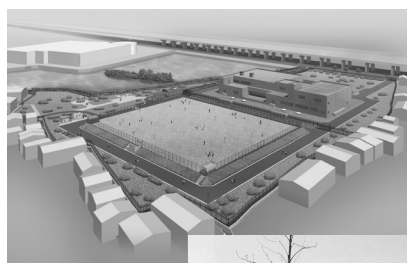
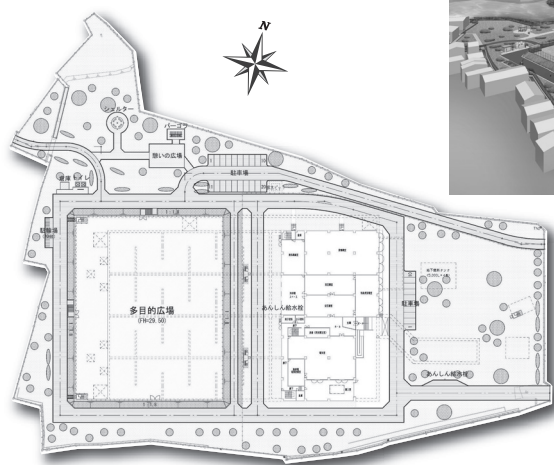
(上田3丁目)



松原ポンプ場の概要が具体化!!

(上田6丁目)

場内整備平面図



透水性平板ブロック舗装

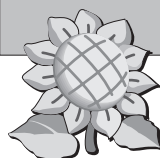
シエルト

トイレ

工事予定工程表		平成24年度	平成25年度	平成26~28年度	平成29年度	平成30年度
説明会	説明会	●				
	公聴会	●				
ポンプ場工事	浄水場・ポンプ棟工事	■	■	■		
	修景工事					
シールド工事						

通水目標

どんな事でも、お気軽にご相談ください!!



三重松 きよこ
みえまつ 清子

連絡先

☎ 334-1550 (代) (松原市役所) 内線2361 (公明党議員控室)
☎&FAX 333-1478 (自宅)



第17号

2012年
夏号



NEW KOMETO
公明党

松原市議会議員

みえまつ きよこ
三重松 清子

ひまわり通信

発行責任者: 三重松 清子 (後援会)

〒580-0017 松原市柴垣1丁目9-13 TEL&FAX (072) 333-1478

みなさま、こんにちは!! 三重松 清子です。

6月議会のご報告をさせていただきます。

昨年の東日本大震災は、地震、津波、原発事故と三つの災害が重なり甚大な被害を生みました。自然災害から原発事故へ誰も予想しなかった結果となってしまいました。日々起こり得る災害に対し、どう対応し、わが身を守れるのか。「備えあれば憂いなし」日々の備えがいかに大事であり、生命を守ることに繋がるかが教訓として残りました。自助・共助・公助、なかでも自助が基本であり、重要であります。次に共助が大事な役割を担います。しかしながら、相反して現在の社会状況は地域の人間関係の希薄化が問題となっています。いかに地域づくりをして行くかが基礎自治体の課題といえます。

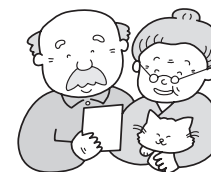
また、災害に強いまちとは、市民にとって、なかでも高齢者や障がいをお持ちの方、子ども達にとって安心で安全なまちであります。ハード面とソフト面、両面からの取り組みでさらに災害に強いまちづくりが今、求められています。こんな観点から質問をさせて頂きました。(次面参照)

お知らせコーナー

松原市社会福祉協議会 「にここ福祉相談所 たつべ」 をオープン!!

社会福祉法人松原市社会福祉協議会では「府営松原立部住宅」の一室を借りて、介護などの高齢者に関する相談や、市民団体の地域活動に関する相談など、気軽に相談できる窓口を開設しました。ご利用ください。

- 開所場所: 月、水、金曜日 午後1時~午後4時
水、木曜日 午前10時~午後1時
(土・日・祝日・12/29~1/3は休み)
- 所在地: 松原市立部5-4
6棟106号室
- TEL・FAX: 072-349-6910



市立松原病院跡地 「イズミヤ」核に大型施設に

今年3月、公募型プロポーザル方式で企画提案を募集。計6社から応募があり、イズミヤを最優秀提案企業に選定、優先交渉権者として5月に仮契約を締結。

提案では、スーパーマーケットを核として、物販、飲食サービス系店舗のほか、健康や子育てにも配慮した商業施設となる予定。8月末までに本契約を結び、建設準備に取りかかる予定です。

近隣市の図書館が利用可能に!!

7月から大阪市に加えて、八尾市、柏原市、東大阪市、富田林市、河内長野市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市の市立図書館が利用できるようになりました。

利用される方は、各市の図書館で図書利用カードの作成が必要です。なお、詳細は各市図書館にお問い合わせください。

問合せ: 松原図書館 ☎ 072-334-8060

高齢者と子どもたちに優しいまちへ

1. 高齢者の安心安全について



要援護者管理システムについて

問 西宮市でつくられた「被災者支援システム」がバージョンプラップされ、今回、要援護者管理システムも組み込まれました。「被災者支援システム」の本市導入について、その後の調査結果についてお示し下さい。

答 西宮市のシステムを含め、現在、導入を検討しているが本市が使用している基本ソフトと異なっているため、その他のシステムも含め、より効率的・効果的なシステムの導入を検討して参ります。

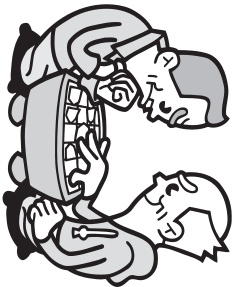
高齢者の居場所づくりについて

問 本市の老人センターは老人福祉センターを含め9か所あり府下でもトップクラスの充実度と聞かれています。会館については、耐震補強工事など進めて頂いているところですが高齢者の皆さんが益々お元気ですセンターに多くさん集って頂けるよう更なる拡充をお願いしたいと思えます。また、地域においても買い物帰りに気軽に立ち寄れる場所の確保が必要だと考えますがいかがでしょうか。

答 老人福祉センターにおいて、元希者クラブ松原をはじめ、各種団体が高齢者の生きがいづくり、介護予防等を目的として、陶芸、囲碁、将棋等各種サークル活動等を活発に取り組んでいます。

今後も、元希者クラブの会員はじめ、様々なサークル活動への加入を促進するとともに、老人福祉センターがより多くの高齢者が集える居場所となるよう、関係機関と連携し、介護予防等の取り組みを行い、充実に努めてまいります。

また、今年度の事業として、府の緊急雇用創出基金からの補助を使って天美商店街の空き店舗を活用し、高齢者向けインターネットカフェの開設を予定しています。



問 老人福祉センターを利用されている方からもっとはつらつとした名称にしてほしいとの要望があります。いかがでしょうか。

答 現在の60代は昔と違い非常に若いです。老人という呼称には少し抵抗があると思われるので、通っておられる元希者の方から愛称を募集するような形で検討していきたい。

2. 子どもの安心安全について

通学路の安全対策について

問 4月23日に京都府亀岡市で起きた集団登校中の児童と保護者の列に軽自動車が入り込み3人が死亡、7人が重軽傷を負う事故が起きました。その事故から4日後にも、千葉県館山市で通学途中の児童を襲った同様の事故が起きています。

警察庁の統計によると登下校中の交通事故で死傷した全国の児童数は、昨年1年間で2,485人に上るそうですが、この数字は過去5年のうちでもっとも少ない数とのこと。本市教育委員会において、いち早く通学路安全点検調査を実施して頂いたと伺っております。その結果についてお教え下さい。

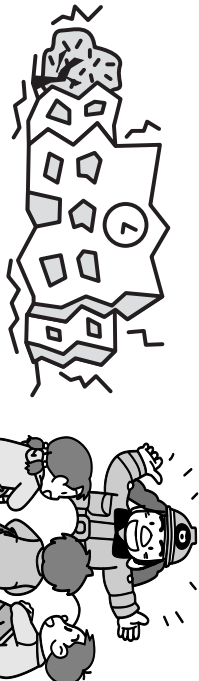
答 通学路については、毎年、小学校ごとに学校、PTAがあつまり、通学時の安全確保について話し合い、通学路を決めています。また毎年、春と秋に各1校ずつ学校管理者・PTA・子ども安全見守り隊・教育委員会・道路管理者・松原警察により通学路の安全点検を行い、危険箇所等の補修などを実施している。今年度に入り、教育委員会として全小学校へ注意喚起をするとともに、いち早く通学路の安全点検の再調査を実施。報告のあった箇所について、教育委員会、道路管理者、松原警察と協議を行い、緊急性の高いものより改善に努めていきます。

3. 防災について

学校施設の非構造部材の耐震対策は

問 本市の学校施設の耐震化は府下でも最も早く、平成22年度に100%達成していますが、非構造部材である天井材や窓ガラス、照明器具などの耐震対策は進んでいるのでしょうか。お聞かせください。

答 学校施設で地震時落下のおそれがある外壁・天井・窓ガラス等の非構造部材の耐震点検・耐震対策状況調査については、平成23年度中に市立小・中学校及び幼稚園については調査を完了しています。23年度に幼稚園9園の園舎廊下の避難通路部分の窓ガラス落下防止のフィルム貼りや保育室の家具等の転倒防止対策を行い、今年度は、校舎の外壁全面改修、天井板落下防止対策等の改修工事を実施します。



暑さ対策について

問 昨年以上に今年の夏は節電が叫ばれています。昨年8月、茨城県取手市へ熱中症から児童を守るための対策としてミストシャワーの設置がされている小学校へ視察に行かせて頂きました。水圧を利用し、霧を吹き出すため、電気を一切使わず、ランニングコストは1時間で5.1円。本市の場合は、昨年の調査では2.6円とわずかで設備費用も標準キットが2,500円から3,000円と安価でした。運動会の練習を前に本市においても設置を要望し、昨年、幼稚園9園につけて頂き、大変好評でした。本年の予定についてお聞かせ下さい。

答 昨年、市立幼稚園で好評であったミストシャワーについて順次各小中学校に設置していきます。市立保育園についても全園に設置します。

未就学児のアレルギー対策について

問 新給食センターでの稼働も始まり、いよいよ待望の小学校給食のアレルギー対応食も開始されようとしています。厚生労働省は昨年3月、初めて「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」を作成しました。現時点での保育所におけるアレルギー対応についてお聞かせ下さい。

答 個々のアレルギーに対応した食事を提供しています。アレルギーに関する講習会を予定しています。

防災教育について

問 6月3日、松原東小学校において、日曜参観終了後に防災訓練が行われました。この様子は翌日の新聞にも紹介されました。避難場所である学校で通常の防災訓練にはなかなか参加できない父兄、若い世代が参加できるいい機会であったと思います。また、6年生を対象に放水訓練や消火器の取り扱い、煙中訓練、心肺蘇生法等、今までしたことのない訓練が出来、子ども達にとってもいい経験になったと思います。小さい時の経験は大人になっての経験と違い、その後の生き方にも影響を及ぼすと考えます。特に生命を守る防災教育の重要性を感じます。子ども達や父兄はじめ近隣の方々を巻き込んだ今回の防災訓練について、今後の予定についてお聞かせ下さい。

答 「セーフコミュニティ災害時の安全対策委員会」の提案を受け、町会・地域防災組織等の共同による地域防災ネットワークプロジェクト防災訓練が実施され、児童と保護者が一緒に消火器を使った消火活動や救急救命活動を体験しました。今後も、児童生徒の防災に対する意識の高揚を図るとともに、地域や保護者と連携した防災訓練等の取り組みをさらに推進していきたい。